

# 学校設定科目「ガーデンデザイン」における 自他の考えをまとめ表現する力を高める指導の工夫 ～アクティブ・ラーニング型授業実践を通して～

農業班 柳沢 華織(高等学校教諭)

・造園空間のデザイン設計 = 活発な意見交流  
・班で話し合い進める場 が期待される

しかし…

### 【生徒の実態】

言動が消極的…  
言葉の数や表現の種類が  
限られている…



### 【目指す生徒像】

自他の考えをまとめ表現できる生徒  
活発な意見交流のある集団

#### 考える力

より多くの言葉やイメージを出せるような手立て

#### 表現する力

抵抗なく発言や発表ができるような手立て

## 【実践1】 コンテスト作品鑑賞とデザインの進め方

ねらい: 様々な視点で考え、多くの意見を出すことができる

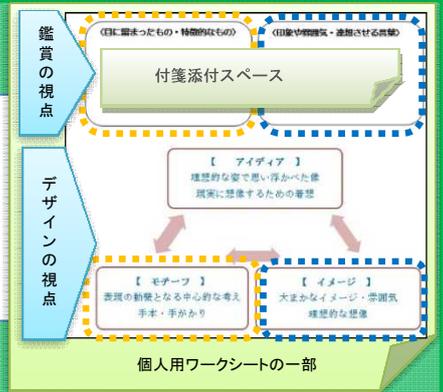
#### 表現する力

- ①付箋紙記入・鑑賞のルール確認
- ②個々に、感じたことを付箋紙に書き出す
- ③班で、記入した付箋紙を視点別にまとめ、理由も共有する
- ④各班の代表者が学級全体に発表する



#### 考える力

⑤鑑賞の視点を  
デザインの視点に  
置き換えて考える



### 鑑賞

班毎での小庭園制作に向けて  
・テーマ設定時に4時間  
・デザイン計画・設計時に2時間

グループのメンバーを固定して  
アクティブ・ラーニングを繰り返す

付箋紙・マインドマップ  
を活用した活動

## 【実践2】

発表

+

鑑賞

さらに

制作者へ  
提案

小庭園制作中間発表 (制作者として発表する立場と、他班の作品を鑑賞し提案する立場の2つの役割で取り組む)  
ねらい: 思いを発表し、かつ提案することができる

#### 考える力

#### 表現する力

発表者  
(制作者)

二役

鑑賞者  
(提案者)

- ①付箋紙記入・鑑賞の視点やルール確認  
2つの異なる立場の役割確認

★中間発表会の流れ  
①イメージスケッチの鑑賞。感じたことを付せん紙に記入。(個人活動)  
②班ごとに、プレゼンテーションを行い、鑑賞者は、感じたことを付せん紙に記入。(個人活動)  
③付せん紙を班ごとにまとめ、制作者へ渡す準備をする。(班活動)  
④ふりかえり。  
★次時 (班活動)  
各班の鑑賞シートを受け取り、他班の意見を今後の設計計画にいかそう。

鑑賞シート (例) 『2014年度・おひるの家』  
(イメージ・印象・感情)  
\*「どこからいい」  
\*「手前側と後ろ側でどう違うのか」  
(ユニークな点・工夫を感じた点)  
\*「長所」  
\*「短所」  
\*「鑑賞者・おひるの家」  
\*「おひるの家」  
\*「おひるの家」  
\*「おひるの家」

＜モチーフ・目に留まったもの＞  
\*「カラフルな丸」  
\*「水辺の木や草花の緑のピーン」  
(テーマとの関連性)  
\*「壁と調音していない」  
\*「おひるの家」  
\*「おひるの家」

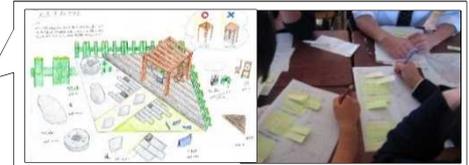
個人用ワークシートの一部

- ②個々に、イメージスケッチの鑑賞
- ③発表及び発表を受けての個々での鑑賞

発表者として、  
設計中のイメージスケッチを用いてプレゼンテーションを行う

鑑賞者として、  
感じたことやその理由についてできる限り  
たくさん付箋紙に書き出す

- ④鑑賞者として、  
班で、付箋紙に書いた意見をアドバイスシートに  
理由と共にまとめ、他班へ提案する準備をする



## 【成果】

\* 考える力

- 付箋紙を用いた活動
- 個人活動後のグループ活動

⇒ ● 全員が個々に考えた上で、  
必然的に全員参加の意見交流が実現した

\* 表現する力

- 活動規模や内容を  
段々とレベルアップ
- 固定班で繰り返して活動

⇒ ● 抵抗なく自らの意見を言葉と絵で表現できるようになった  
● テーマ並びに設計意図をもち制作にあたるできるようになった



## 【課題】

- ◆ 実態把握・ルール設定・環境づくりなど教師側の事前準備が重要